東京都区市町村
総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度に向けた説明会

資料No.5

# 総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）による
# 地域課題の解決に寄与する取組事例
# （日本スポーツ協会メールマガジンから）

日本スポーツ協会
Japan Sport Association

地域スポーツ推進部　クラブ育成課

令和元年９月９日

健康・地域医療

観光

食

教育

社会インフラ

# 地域課題とは

# 市区町村数＝1,741

人口減少

エネルギー

環境

まちづくり

地域防災

総合型地域スポーツクラブ × 地域課題

# 政策における総合型クラブによる地域課題解決への期待

## ■第2期スポーツ基本計画（文部科学省）

第2章　中長期的なスポーツ政策の基本方針

（1）スポーツで「人生」が変わる！
（2）スポーツで「社会」を変える！
（3）スポーツで「世界」とつながる！
（4）スポーツで「未来」を創る！

→ スポーツで**社会の課題解決に貢献**し，前向きで活力に満ちた日本を創る。

第3章　今後5年間に総合的かつ計画的に取組む施策

（2）②総合型地域スポーツクラブの質的充実
【施策目標】（前略）総合型クラブによる地域課題の解決に向けた取組を推進する。

## 【参考】総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018（日本スポーツ協会）

1．総合型地域スポーツクラブ育成の「基本理念」

「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」

→ スポーツによる**「ソーシャル・ガバナンス」体制の構築**を目指した地域社会の発展に貢献することを認識する必要がある。

「ソーシャル・ガバナンス」とは・・
　**地域社会の様々な問題に対して、公的機関と住民組織や民間団体等が協働することによって問題の解決に向かう**社会的な装置あるいはメカニズム。

# 地域課題の例

1. 健康増進

2. 介護予防

3. 障がい者スポーツの推進

4. 学校部活動との連携

5. 子育て支援

# 総合型クラブが「地域課題の解決に取り組んでいる」事例
# １．健康増進

総合型地域スポーツクラブ 公式メールマガジン
第123号　平成28年1月20日発行

## ｜特集｜
## 総合型クラブに求められるスポーツ推進
### ～健康づくり、運動の習慣化～

### 大学と連携して村民の健康づくりに寄与

NPO法人川場村スポーツクラブ

総合型クラブの活動において、地域住民へスポーツ活動を促し、地域住民の健康増進および体力づくりに寄与することは大切な役割の一つです。そこで、群馬大学との連携で健康測定や体力測定を実施し、村民の健康づくりを行っている川場村スポーツクラブの活動に着目しました。

**キーポイント**

◎大学との連携で健康測定・体力測定を実施
◎行政からの要請で中高年の健康づくり
◎アンケート実施で参加者の声を生かす

◎大学との連携で健康測定・体力測定を実施
◎行政からの要請で中高年の健康づくり
◎アンケート実施で参加者の声を生かす

**特色と効果**

◎行政の方針でクラブ事務所がある建物の空室に、スポーツジムを併設することとなる。

◎クラブの教室で過去に指導を行った大学の学生から体育学部の教授を紹介してもらい、教授の指導のもとで準備を進めた。

◎データとして表示された数値から自分の健康状態を知ることにより、日常生活において健康に注意するようになるなど、住民が健康に対して意識するようになった。

# 総合型クラブが「地域課題の解決に取り組んでいる」事例
# ２．介護予防

日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン　第133号　平成29年7月20日発行

## 特集企画

### 介護予防等の健康づくりに取り組むクラブ

**あまスポーツクラブ**
＜愛知県あま市＞

総合型クラブの活動は、地域住民へスポーツ活動を促す契機となり、地域住民の健康増進および体力づくりに大きく寄与することができます。また、総合型クラブが地域に根差し、必要不可欠な団体となるためにも、健康・医療など地域の諸課題を解決する公益的な事業を積極的に行うことが必要となってきます。

そこで今回は、高齢者向けのプログラム等の実施を通して健康づくりに取り組むクラブを紹介します。

◎介護年齢引き上げを目指した運動と脳トレ
◎他クラブ・協議会と連携し、指導者を確保
◎行政と連携し、地理的ハンデ解消に繋げる

**特色と効果**

◎多くの団体が高齢者の支援活動を行っていたが、活動がバラバラであり、行政の意向もあり、クラブが支援活動の中心に。

◎他クラブ・協議会と連携し講師不足で参加者のニーズに対応しきれないという問題に対応。

◎設立して間もないクラブの軸になる活動として、クラブの団結力やスタッフの目的意識の向上に繋がる。また、講師の豊富な知識をもとにプログラムを組んでいるため、転倒防止等の効果を得られている。

# 総合型クラブが「地域課題の解決に取り組んでいる」事例
# ３．障がい者スポーツの推進

日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン　第129号　平成28年11月21日発行

特別企画

障がい者スポーツと総合型クラブ

［一般社団法人 飛騨シューレ
<岐阜県飛騨市>］

地域スポーツクラブへの障がい者スポーツの導入について、2016年のブロック別クラブネットワークアクション（NWA）で情報提供を行っておりますが、参加できなかったクラブも多数いらっしゃるかと思います。

そこで今回は、障がい者スポーツを導入しているクラブの事例紹介をいたします。

※このPDF内の写真は、障がいの有無に関係なくすべての子どもたち・大人の方たちを写しています。

◎県障がい者スポーツ協会からの事業依頼
◎受託事業から自主事業へ
◎特別支援学校の生徒・OB・OGが活躍

**特色と効果**

◎「障がい者スポーツ」ではなく、「障がいをもった子どもたちとの協働活動」という考え方。

◎特別支援学校の子どもたちを対象とし、特別支援学校PTAの協力を得た。

◎特別支援学校高等部生徒やOB・OGは、対象の子どもたちの面倒見がよく、イベントによってはリーダーやサポーター的な役割を担ってもらう。それらは、重要な活躍の場であり、やりがい、生きがいを感じる場となっている。

# 総合型クラブが「地域課題の解決に取り組んでいる」事例
# ４．学校運動部活動との連携

日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン　第136号　平成30年1月22日発行

## 特 集

### 学校運動部活動と連携するクラブ

**NPO法人楽スポあすか**
**＜奈良県高市郡明日香村＞**

中学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒数減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力をもつ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動が成り立たなくなる現状があります。

このような中、外部指導者の活用も議論されるようになり、中学校運動部活動と総合型地域スポーツクラブの連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。

ここがポイント！

1. 教育文化課、教育委員会が「みなし部活動」を考案
→「楽スポあすか聖徳中学校卓球部」が始動
2. 外部指導者を派遣→専門的指導者の派遣により指導力不足を補う
3. 校長ら中学校側の理解を得て連携
→総合型クラブの活動が中学校部活動へと継続する環境が整う

◎教育委員会等が「みなし部活動」を考案
◎外部指導者を派遣
◎校長ら中学校側の理解を得て連携

**特色と効果**

◎教員の不足から正式な部活動としては活動できない問題を解決するために考えられた。

◎楽スポあすか聖徳中学校卓球部は、中学校の部活動の規則に沿って活動。指導には、「技術の指導だけではなく生徒指導ができる指導者」を満たすために元小学校教諭に就いていただいた。

◎クラブで卓球を頑張っている小学生が中学生になっても部活動として卓球を継続する環境が整ったことや、今まで卓球をしていなかった児童も中学校に入学してから始めることができる選択肢が増えた。

# 総合型クラブが「地域課題の解決に取り組んでいる」事例
# ５．子育て支援

2012 メルマガ7月（81号） 特集 子育て支援のあるクラブ

## 託児システムで、明日への一歩を踏み出す「あすぽ」
（あしがら総合型スポーツクラブ「あすぽ」 神奈川県山北町）

### １．「あすぽ」が提供するメニュー

神奈川県足柄上郡山北町にある「あしがら総合型スポーツクラブ『あすぽ』」（以下、「あすぽ」）の「朝のエクササイズ チャージ！」は、平日の午前中を中心に、骨盤体操、ヨガ、ピラティス、エアロビクス、ダンベル体操など計 11 種目のエクササイズを、山北町健康福祉センター、南足柄市中部公民館の２会場で実施しています。大人向け「チャージ！」はどのレッスンも託児付きとなっているほか、子供を同伴できるレッスンも設けられています。

「チャージ！」をはじめ、幼児体操教室「ファイトキッズ」、親子体操クラス「きらきら親子体操」など親しみやすいネーミングが付けられています。

◎スタッフは皆、子育てを経験した母親
◎託児付きのレッスンを導入
◎「日本一子育てのしやすい地域」を目指す

**特色と効果**

◎子育て期間中は、自分の健康を二の次に考え、ストレスも溜めがちになってしまうという共通の悩みがある。

◎託児は、母親目線・主婦感覚を大切にして、また地域還元という考え方でお財布に優しい料金設定がなされている。

◎妊娠、出産を機に家庭に入ったお母さんが、クラブの託児ボランティアに入ることで、社会参加や仕事復帰に向けた小さな第一歩となっている一面もある。

地域課題の解決=公益的な取組

＜例＞
1．健康増進
2．介護予防
3．障がい者スポーツの推進
4．学校部活動との連携
5．子育て支援

公益的な取組を促進するには、行政等、公的機関・組織とのパートナーシップ構築が求められる。

地域課題解決のための方策等について市町村行政と連携して事業を実施しているクラブの割合は、18.9%※

行政等、公的機関・組織が総合型クラブとパートナーシップを構築するために、**登録制度を活用していく**

行政等がパートナーシップや支援の対象を行う際の判断基準が必要

⇩

活動実態や運営形態、ガバナンス等についての基準を備えた**登録・認証等の制度を整備**

※「平成29年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果概要」スポーツ庁 （2018）